

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 724 号	氏名	成田 由香
学位審査委員	主 査	筑波 隆幸	
	副 査	藤原 卓	
	副 査	根本 孝幸	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、歯周病原細菌 <i>Tannerella forsythia</i> において9型分泌機構が機能し、病原因子の輸送や分泌に関わることを解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p><i>T. forsythia</i> における9型分泌機構関連遺伝子の変異株を作製し、野生株との性状比較のため、SDS-PAGE で全菌体タンパク質パターン解析、イムノブロット解析を行っている。病原因子である Surface layer の変化に着目し、糖鎖染色、電子顕微鏡観察、赤血球凝集活性、バイオフィーム形成能やトリプシン様活性について比較解析している。9型分泌機構を介して分泌される病原因子の解析のため、培養上清中のタンパク質を二次元ゲル電気泳動で展開し、質量分析でスポットの同定しており、一連の研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、<i>T. forsythia</i> においても9型分泌機構が機能し、病原因子である Surface layer が菌体表面へ輸送されることやCTD含有タンパク質が菌体外への分泌されることを明らかにし、今後の9型分泌機構研究、歯周疾患の治療や予防研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は歯周病原細菌 <i>T. forsythia</i> における病原性解明の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			